

DITTING 取扱い説明書

Coffee Grinders Type KR: 805



Voltage:

Serial No:

目次

1. はじめに
 1. 1 受領確認書
 1. 2 安全上の注意
 1. 3 本書の範囲
 1. 4 用語の説明
 1. 5 著作権

2. 安全と保証
 2. 1 安全注意の説明
 2. 2 安全のための一般情報
 2. 3 電力
 2. 4 目的にそった使い方
 2. 5 サービススタッフの心得
 2. 6 保障と責任

3. 機械の説明
 3. 1 主要な機能
 3. 1. 1 機械のデザイン
 3. 2 テクニカルデータ
 3. 2. 1 動力
 3. 2. 2 音の発生

4. 梱包と輸送
 4. 1 機械の梱包
 4. 2 機械の開封

5. 機械の設置場所
 5. 1 設置条件

6. 機械の設置
 6. 1 設置
 6. 2 受皿の取り付け
 6. 3 電源の接続

- 7. 始動

- 8. 操作
 - 8. 1 機械操作の条件
 - 8. 2 操作
 - 8. 3 目盛りの調整

- 9. メンテナンス
 - 9. 1 清掃
 - 9. 1. 1 ホッパーの取り外し／交換
 - 9. 1. 2 粉碎部分の清掃
 - 9. 1. 3 粉出口の清掃
 - 9. 1. 4 受皿の清掃
 - 9. 2 各部の交換
 - 9. 2. 1 刃の交換
 - 9. 2. 1. 1 ネジなし回転刃の交換
 - 9. 2. 1. 2 ネジなし固定刃の交換
 - 9. 2. 1. 3 ネジ付き回転刃と固定刃の交換
 - 9. 3 電気システムのメンテナンス

- 10. 保護装置／故障
 - 10. 1 保護装置
 - 10. 2 故障
 - 10. 2. 1 故障と対応

- 11. 廃棄方法

- 12. 連絡先

1. はじめに

お客様へ

この度は<ディテイング>コーヒーグラインダーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。この取扱い説明書はお客様が本製品を簡単にお使いいただけるよう用意いたしました。取扱い説明書にはグラインダーに関する情報、忠告、そして手引きが記載されております。よくお読みになって正しくお使い下さい。

本製品は高い品質・安全基準に基づいて製造されております。しかしながら誤って使用すると、グラインダー本体の故障やお客様の怪我につながる場合がございます。

正しくご使用いただくために、この取扱い説明書を十分注意してお読み下さい。取扱い説明書にはコーヒーグラインダーの正しい使用方法が記載されており、誤った使用を避けることができます。取扱い説明書通りに使用すれば危険を回避するだけでなく、修理や故障の頻度を減らし、グラインダーを長くお使いいただくことが可能です。

お客様や従業員の皆様が安全にお使いいただくため、この取扱い説明書をお読みいただきましたら、次のページの「受領確認書」をご記入いただき、点線に沿って切り離した後、弊社にお送り下さい。

本製品は最先端の技術とスイスが伝統的に培ってきた質の高い仕事、そしてディテイング社の生産能力、安全性が融合して製造されております。また国際電気標準会議で定められている I E C 6 0 3 3 5 に適合した製品です。

この取扱い説明書で想定可能な全ての取扱い方を網羅するのは不可能です。もっと詳細な情報が必要な場合や、取扱い説明書では十分に説明されていない問題が発生した場合は弊社代理店または直接弊社にお問い合わせ下さい。

1. 1 受領確認書

本書はお客様が取扱い説明書を受け取った際の確認書です。

重要

この確認書は購入者が記入するものです。購入者はこの確認書に記入後、弊社に送り返してください。この受領書を持って、購入者はこの取扱い説明書をよく読み、グラインダーの使用に当たって安全の手引きに十分注意を払うことを約束したものとします。

受領確認書（最終ページに英文で表示）

- 1) 型番、製造番号
- 2) お客様の住所
- 3) (1)に記載されているコーヒーグラインダーは私が購入しました。コーヒーグラインダーと一緒に取扱い説明書も受領したことを確認いたします。お客様の署名、日付
- 4) 受領日
- 5) 代理店の住所、会社の印、サイン
- 6) 製造者のガイドラインに沿ってお客様にコーヒーグラインダーを引き渡しました。社印、サイン、もし(5)と同じでない場合
顧客担当者のサイン、日付

1. 2 安全にご使用いただくために

- 取扱い説明書は必ずグラインダー本体と一緒に保管してください。
- 販売員やサービススタッフはグラインダーを起動する前に必ず取扱い説明書を読み、全ての機能や故障の際の手順に精通してください。
- セルフサービスコーナーで消費者がグラインダーを使う場合、故障の際は即座にセールスタッフに連絡するよう明示し、お客様自身で修理させないようにして下さい。
- グラインダーは、消費者がセールスタッフに直接連絡できる場所に設置して下さい。
- グラインダーはお子様の手の届かない場所に設置して下さい。
- グラインダーは断続運転でご使用ください。連続運転しますと焼けつく危険があります。
- 修理の際はディテイング社製の部品を使用して下さい。他の製造者の部品を使用した場合、能力が落ちたり、怪我や故障の原因となる場合があります。
- 替え刃は必ずディテイング社製の刃をご使用下さい。
- ホッパー内に決して指を入れないで下さい。
- 針やピン、刃物など通電性のあるもので電気系統に触れないで下さい。
- グラインダーがブレーカーやヒューズで保護されているか確認してください。

1. 3 書類の範囲

このマニュアルは以下の項目について記載しております。

- グラインダーの設置と付属品
- 設置
- 始動
- 使用方法
- メンテナンス
- 受領確認書

取扱い説明書は必需品であり、商品の一部です。売却の際は必ず新しい所有者に取扱い説明書をお渡しください。

1. 4 用語の説明

取扱い説明書では、グラインダーに関わる全ての人間に対し以下の呼称を使っています。

ユーザー

グラインダーを使用するお客様です。ユーザーは自身でグラインダーを使用します。サービススタッフはユーザーに対し故障の際は直ちに相談するよう通知しておいて下さい。ユーザーは自身で製品を直そうとしないで下さい。

サービススタッフ

オペレーターに従事し、グラインダーの維持やサービスを行うスタッフです。取扱い説明書をよく読み、理解している必要があります。故障の際の処置を含め、全ての機能に精通していなければなりません。

メンテナンススタッフ

オペレーターに従事し、設置やメンテナンスを行うスタッフです。専門的な知識と熟練した技術が必要です。取扱い説明書を読み、理解している必要があります。

オペレーター

製造者や代理店の契約対象者です。合法的に契約を締結する権利を有する者で、グラインダーを購入し、意図する目的のために機械の使用を許可します。

1. 5 著作権

取扱い説明書の内容は外部に洩らさないでください。取扱い説明書に記載されている全ての情報やデータは著作権により保護されています。著作権の侵害に当たる行為は賠償請求の対象になります。

本書は著作権で保護されている資料が含まれています。ディテイング社の同意なしにコピーしたり、マイクロフィルムに移したり、第三者に渡したりすることはできません。著作権の侵害に当たる行為は賠償請求の対象になります。

2 安全と保障

2. 1 安全上の注意について

取扱い説明書の中の「安全上の注意」は生命や人体に危険が及んだり、グラインダー破損の可能性、あるいは失敗しないメンテナンスなどについて適切な情報を提供します。どの部分でも、警告サインは特に重要です。この情報は必ず読んで守ってください。

表示について

- 危険** 人が死亡または重傷を負う危険が発生する内容
- 警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
- 注意** 人が重傷を負う可能性が想定される内容
- 通告** 物的損害が想定される内容
- ヒント** グラインダーを正しく安全に使用するために役に立つ情報

2. 2 安全のための一般情報

次の項目には特にご注意下さい

グラインダーの設置、始動、操作、メンテナンスに携わる人は、必ずこの取扱い説明書を良く読んで内容を理解してください。特に第2章の「安全と保障」は重要です。

グラインダーは最新技術を駆使して組み立てられております。特にユーザーの安全には十分にご注意ください。

安全装置は、グラインダーに係わる全ての方の安全を確保するための安全デザインという基本概念に基づいています。

ヒント

安全装置の変更もしくは解除につながる改造は絶対にしないでください。

グラインダーは、安全装置が正しく作動する場合にのみ運転可能です。

ヒント

取扱い説明書に記載されているように、グラインダーの設置、メンテナンス、修理に関連する全ての作業は、必ずスイッチを切ってから行ってください。

グラインダーの安全性を損なうような作業はしないでください。サービススタッフは、安全性を損なう改造を見つけた場合、直ちに報告するものとします。

オペレーターは、欠陥がある場合グラインダーを使用してはなりません。

警告

グラインダーの設置、メンテナンス、修理等は必ず機械が静止しているときに行ってください。このような作業を行う前に、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

作業終了後、スイッチを入れる前に全ての保護装置が正しく取り付けられていることを確認してください。

家屋に取り付けられているブレーカーやヒューズが正常であることを確認してください。

取扱い説明書は機械の一部です。説明書を破損したり紛失した場合は、直ちに弊社カスタマーサービスか弊社代理店に新しい取扱い説明書をご請求ください。

2. 3 電源

危険

電気に触れる部分には絶対に触らないでください。ショック死や重傷を負う危険があります。

電源コードに欠陥がある場合はグラインダーを使わないでください。欠陥のあるコードやプラグは、電気用品取扱いの資格をもつ専門家か弊社カスタマーサービスに直ちに交換してもらってください。

注意

電源プラグをコンセントに差し込む前に、お使いになる場所の電気仕様（電圧／周波数）やブレーカーがグラインダーの銘版や本書に記載されている仕様と一致していることを確認してください。仕様が異なる場合は、絶対に電源プラグをコンセントにつながないでください。

2. 4 使用目的

コーヒーグラインダーの機能は焙煎されたコーヒー豆を粉砕することだけです。その他の目的では使わないで下さい。

注意

ホッパーの中には焙煎されたコーヒー豆だけを投入してください。一旦粉碎されたコーヒーを二度挽きのためにホッパー内に入れしないで下さい。

注意

連続運転しますと、モーターが熱をもって焦げ臭が発生したり、焼けついて火災の危険があります。断続運転でご使用ください。

注意

コーヒー以外の物体や液体をホッパー内に入れしないでください。故障の原因になります。

ヒント

危険ですので、グラインダーを正しく使用し、目的以外には使用しないでください。

2. 5 サービススタッフの心得

グラインダーのメンテナンスは必ずきちんと訓練を受けたスタッフが行ってください。

オペレーターはグラインダーの安全に関し、操作やメンテナンスの責任者を任命し、それが誰にも分かるようにしておいてください。また、任命された人以外がメンテナンスサービスに当たらないよう注意してください。

2. 6 保障と責任

保障は欠陥部品の交換に限定されます。製造者はこの範囲を超えた責任を負わないものとします。交換部品は DITTING の純正品をお使いください。

グラインダーは本書に記載された正しい操作方法でお使いください。機械の目的以外には使用しないでください。また、機械を改造しないでください。

グラインダーの説明

3-1

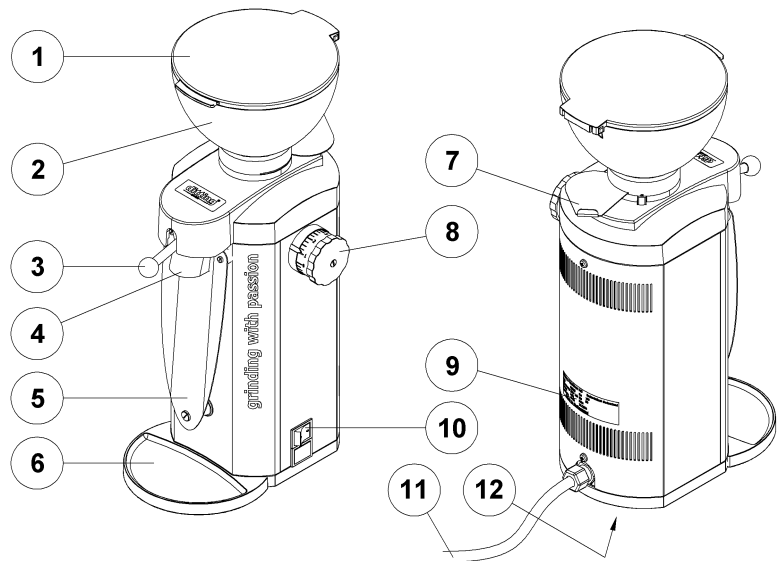
主要な機能

コーヒーグラインダーは、様々なタイプのコーヒーを粉砕することを目的に作られております。挽き目調節ダイヤルは、ターキッシュ（微粉末）から粗挽きまでの挽き目調節につかいます。本機は食料品店、カフェ、レストラン、ホテル等での使用に適しております。操作が簡単なので、セルフサービス・コーナーに置いておけば、お客さまが使用することも可能です。

3-1-1 各部の名称

本体および操作部分の名称は次のとおり

1. ホッパーの蓋
2. ホッパー
3. クランピング・レバー
(袋抑えレバー)
4. 粉出口
5. 振動板
6. 受皿
7. スライド
8. 挽き目調節ダイヤル
9. 銘板
10. スイッチ
11. 電源コード
12. 安全装置 (過重負荷防止)



3-2 テクニカル・データ

機種	ディスク径	粉砕能力 (中細挽き)	ホッパー容量	本体重量
KR805	80mm	650g/分	500g / 1.5kg	17kg

標準タイプは500gのホッパー付き。

オプションで500gスライド無しホッパーと、1.5kg用ホッパーが取り付け可能。

3-2-1 電源

電源はお客様が機械を設置する場所に電源に関係します。本体裏側の銘板に記載されている電気仕様にご留意ください。

3-2-2 騒音

粉砕中の騒音は77dBです。

4 梱包

4-1 機械の梱包

機械を梱包する際は、輸送中の安全のため正しく梱包してください。工場出荷の際に使われる梱包材を利用することをお奨めします。

4-2 機械の開梱

1. 梱包された状態で、機械を設置するスペースの直ぐそばまで運びます。
2. 梱包材を外し、内容品が全てあるか確認します。続いて、運送中に機械にダメージが発生していないかチェックします。
3. 何らかのダメージを発見した場合は、直ちに運送会社と出荷先に連絡の上、ダメージ部分の写真をとってください。また、梱包材は後日の説明のため保管しておいてください。
4. 最終的な設置スペースに機械を設置します。

梱包材は本機の梱包に適した寸法になっております。後日の運送に備えて乾燥した場所に保管しておくことをお奨めします。

5 設置場所

5-1 設置場所の条件

設置場所は乾燥していて風通しの良いところ、そしてグラインダーが落ちたり、滑ったりしないように、水平でつるつるしていないところを選んでください。

小さな子供の手の届かないところにしてください。子供は、電気製品が内包する危険を理解できません。

また、設置場所の近くに電源を確保してください。

6 設置

6-1 設置

手順

1. 最終的なグラインダーの置き場を決めます
2. 設置面が十分に強固で平らなことを確認したら、グラインダーを設置します。設置面の理想的な高さは床から75cmです

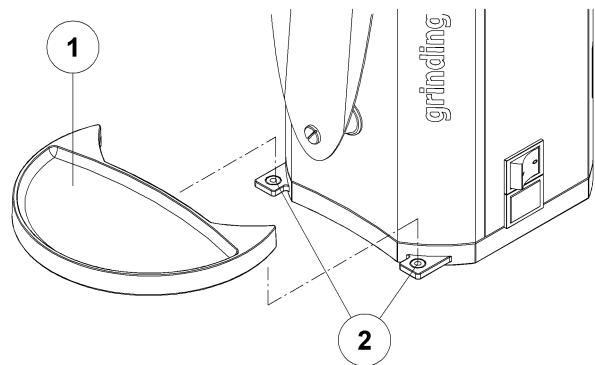
6-2 微分受け取り付け

微分受け①をブラケット②（腕木）に取り付けます

6-3 電源コード接続

注意

電源を接続する前に、本体裏側の銘板や取扱い説明書に記載されている電気仕様と、設置場所の電源（電圧、周波数、ブレーカーヒューズ）が一致しているか確認してください。もし、電源とグラインダーの電気仕様が異なる場合は電源を繋がないでください。



タイプKR645、KR805、KR905の3機種は、工場出荷時に3線コードと電源プラグがついています。

電源コンセントにプラグを差し込んで接続してください。

コンセントの形状が異なる地域では、コンセントにあったプラグを取り付けてください。

タイプKR1005は、工場出荷時に5線の電源コードがついていますが、プラグはありません。

グラインダーをお使いいただく場所の電源コンセントの形状にあったプラグを取り付けてください。

ホッパーから覗いて回転の方向を確認します。回転が反時計回りなら正しい接続です。

注意

回転が時計周りの場合は直ちにスイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。次に、プラグに結んだ3線のうちの2線を交互に結びなおしてください。

7 始動

ヒント

グラインダーを始動するときは DITTING のカスタマーサービス・スタッフまたは DITTING が認定する代理店スタッフが行います。お使いいただくお客様のメンテナンス・スタッフの皆さんにとりまして、グラインダーに慣れていただく良い機会になります。

注意

お客様ご自身で始動されると、思わぬ怪我、あるいは器物の破損を招くことがあります。

チェックポイント

電源コードはきちんと延びていますか？ また、コンセントに差し込まれていますか？（電源コードがねじれていると、擦過傷や通電の障害になったりします）

カバーはついていますか？

ホッパーはグラインダー本体にきちんと取り付けられていますか？

電源は近くに用意されていますか？

8 操作（運転）

この項は、実際の業務での操作（運転）について述べています。

8-1 操作（運転）をする前に

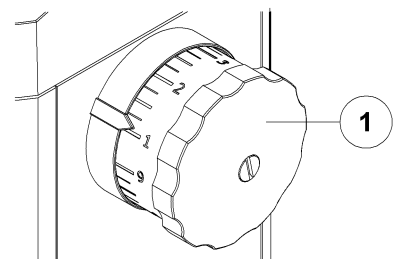
操作（運転）をする前に、次の点をご確認ください。

- グラインダーが正しく設置され、接続されているか
- 始動の項に記載されている確認事項がきちんと行われたか

8-2 操作（運転）

グラインダーの操作（運転）

1. メッシュ調節ダイヤル（1）でお好みの挽き目に合わせます。ダイヤルのメモリは1番ターキッシュ（微粉）から9番（粗挽き）まで9段階で調節可能です。
2. 上蓋（2）を開け、ホッパー（3）内にコーヒー豆を投入します。



注意

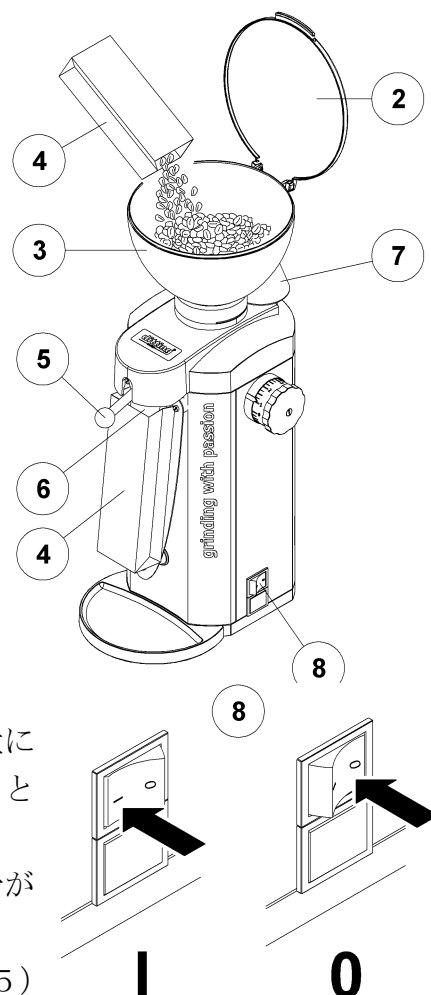
ホッパー内にはコーヒー豆だけを入れてください。決してコーヒーの粉を入れないでください。詰まりの原因になります。

3. 上蓋（2）を閉めます。
4. クランピング・レバー（5）を上げ、空の袋（4）を粉出口（6）を覆うようにセットして、クランピング・レバーを戻します。

注意

袋に何も入っていないことを確認してから、粉出口を覆うようにセットしてください。挽かれた粉が袋の中にスムーズに落ちていかないと、詰まりや故障の原因になります。

5. スライド（7）が開いていることを確認します。
6. スイッチ（8）をONにして、モーターを始動させます。
7. 挽き終わったら、スイッチ（8）をOFFにします。
8. 袋（4）を押さえ、クランピング・レバー（5）を上限まで引き上げて放します。レバーは元の位置に戻ります。これは粉出口の中に粉が残っていないことを確かめる操作です。
9. 上記8の操作を2～3度繰り返し、粉出口の中に粉が残っていないことを確認します。
10. 袋（4）を持ったまま、クランピング・レバー（5）を引き上げて袋を粉出口から外します。



8-3 目盛の調整

グラインダーのメッシュ調節ダイヤルはDITTING工場出荷時に、工場の基準に基づいて調整されています。次の場合は調整してください。

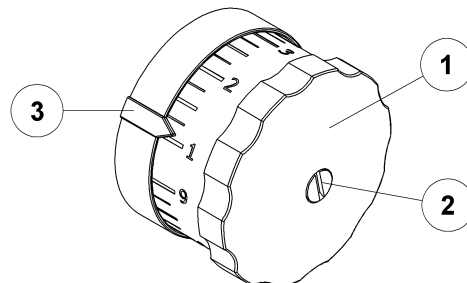
- *工場出荷時の調整では希望する挽き目が得られない
- *自社の希望する挽き目にしたい

注意

工場出荷時のメッシュ調節ダイヤルの調整は必ずサービス・スタッフが行ってください。

手順

- スイッチを **OFF** にします。
- メッシュ調節ダイヤル①を掴み、真ん中のネジ②をドライバーでおよそ4回転ほど緩めます
- ダイヤル①を時計周りにリミット（限度）まで回します
- ダイヤルを手前に引いて浮かし、リミットの歯止めを外して更に回します。次にダイヤルを元に押し戻し、歯止めをかけます。
- 刃と刃が触れ合う音が聞こえるところまで、ダイヤルをまわします。
- 刃が触れる音が聞こえたら、ダイヤルを2目盛ほど反時計回りに戻します。ここが工場出荷時の基本設定です。希望する挽き目に応じて、ダイヤルを逆回しして挽き目を粗くします。
- 現在の目盛でダイヤルを引いて浮かし、目盛の1が矢印③にあうところでダイヤルを再び押し戻します。
- ダイヤルを掴み真ん中のネジ②を締めます。これで調整が完了です。



注意

ダイヤルの目盛1で刃と刃が触れないことが重要です。もし触れていたら、調整をしておしてください。

9. メンテナンス

グラインダーをきれいにし、定期的にメンテナンスすることが故障を防ぐポイントです。そしてそれがグラインダーの機能を維持する最善の方法です。

- * クリーニング
- * パーツの交換

注意

メンテナンスは特殊な知識や技術を必用とします。必ず専従のサービススタッフが行ってください。この取扱い説明書を読むだけでは知識や技術は習得できません。

警告

グラインダーが完全に静止するまでカバーをあけないでください。また、カバーをあける前に電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

グラインダーを一年に一度オーバーホールすることをお勧めします。
粉碎数量がおよそ1000キロに達したら刃のチェックを、1年経過毎にオーバーホールをお勧めします。

9-1 クリーニング

クリーニングはサービススタッフが行ってください。

注意

グラインディング・ユニット内に夾雑物が入らないよう気をつけてください。

グラインダーが汚れてきたら掃除をしてください。最低でも週に一度はお願いします。

洗剤

パーツ	洗剤
ホッパー 受皿（微粉受け）	研磨剤の入った洗剤は使わないでください。食品用の中性洗剤をお使いください。
粉出口外周部	従来からのステンレス用洗剤をお使いください
粉出口内部 粉碎室 ディスク（刃） 本体外周部	乾いた布かブラシできれいにしてください

アルカリ性洗剤は使用しないでください。コーヒーの風味を損なうことがあります。

注意

グラインダーから異物を取り除く際に圧縮空気を吹き付けたり、蒸気や水をスプレーしないでください。ショートの原因になることがあります。

9-1-1 ホッパーの取り外し／取り付け

グラインダー本体、ディスク（刃）、粉出口を掃除する場合は、必ずホッパーを取り外してください。

ヒント

ホッパー内にコーヒー豆が残っていたら、スライド①を矢印の方向に回して閉じてください。そうすればホッパーを外してもコーヒーがこぼれ落ちません。

手順

- *電源プラグをコンセントから抜いてください
- *サイズ0のドライバーでピン②を下に押し、同時にホッパーを反時計周りに回します
- *連結装置が外れたら、ホッパーを上引き上げて外します
- *取り付けは取り外しとは反対の手順ですが、ピン②を下に押す必要はありません

注意

粉碎質④にコーヒー豆が残っている場合は、ホッパーを取り付けるまえに掃除機で吸い取ってください。また、ホッパーをきちんと取り付けるため、連結装置の部分をきれいにし、異物が付着していないことを確認してください。

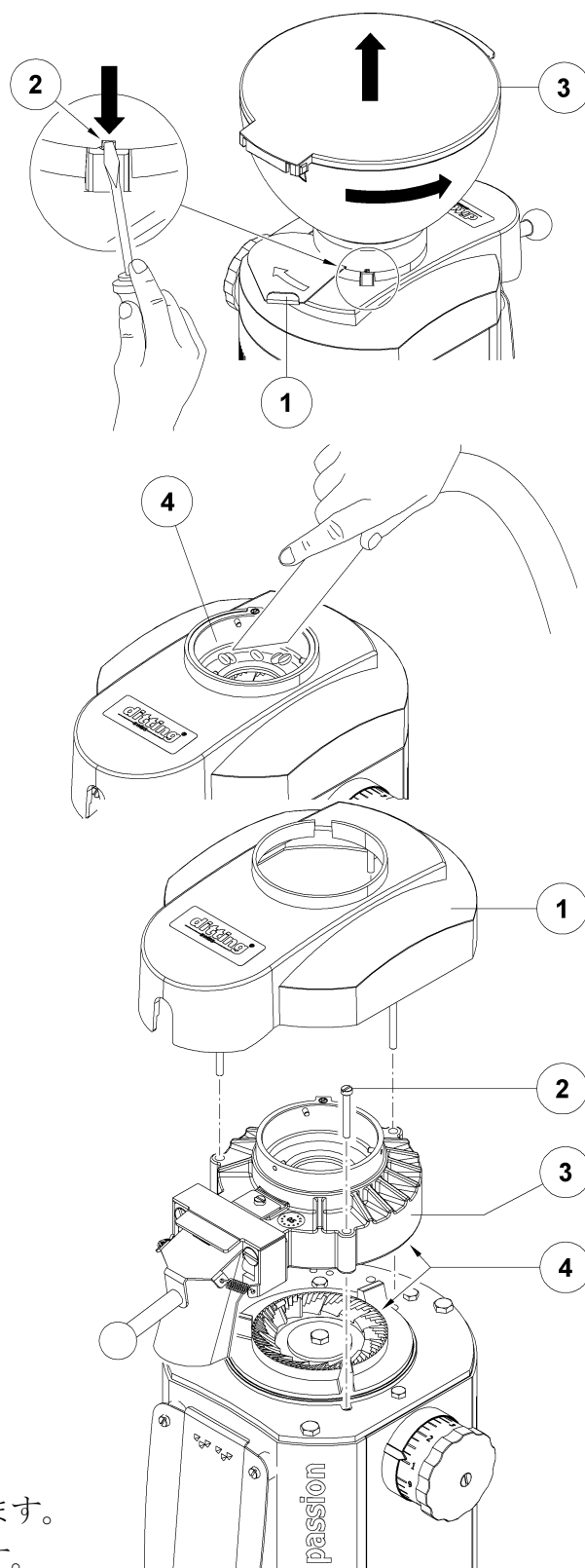
9-1-2 粉碎室のクリーニング

警告

グラインダーが完全に静止するまで、刃の取り外しはしないでください。
刃の取り外しをするときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

手順

- *電源プラグをコンセントから抜いてください。
- *9-1-1で説明した手順に従いホッパーを外します。
- *カバープレート①をグラインダー本体から外します。
- *サイズ4のドライバーで3カ所の留めねじ②を外します。
- *固定ディスクフレンジ③を粉出口がついたままグラインダー本体から取り外します。
- *刃の掃除をし、異物があれば取り除きます。
- *刃の状態を確かめ、磨耗していたら新しい刃に交換してください。
- *全ての部品を外したときと逆の手順で取り付けます。
- *9-1-1の手順に従いホッパーを取り付けます。



ヒント

全ての部品を取り付けるまえに、接触面がきれいになっていることを確認してください。一貫した挽き目を得るのに大切なことです。

*全ての部品の取り付けがすんだら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

*スイッチを入れてすぐに切ります。

ヒント

もし刃が噛んで回らなかったり、触れ合う音がしたら、8-3の手順に従いダイヤルの調整をします。

9-1-3 粉出口のクリーニング

手順

*電源プラグをコンセントから抜いてください。

*9-1-1の手順に従いホッパーを外します。

*カバープレート①をグラインダー本体から外します。

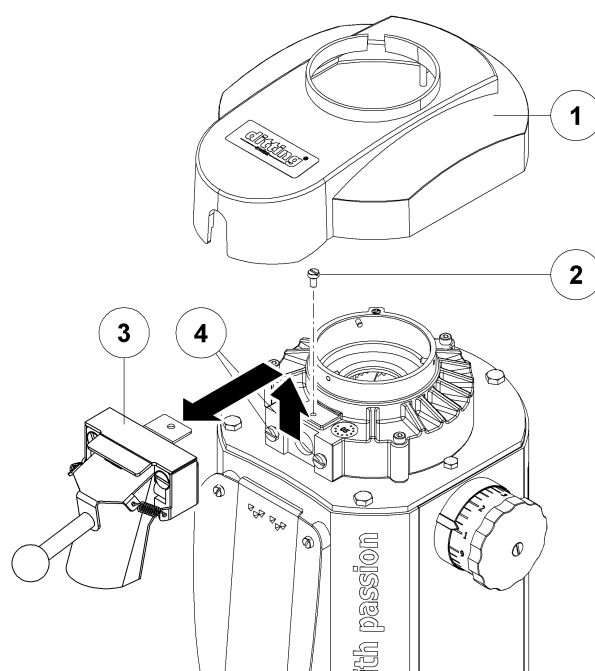
*サイズ3のドライバーで3カ所の留めねじ②を外します。

*粉出口③をねじ山④が見えるまで引き上げ、手前に引くと粉出口が本体から外れます。

*粉出口をきれいに掃除し、異物があれば取り除きます。9-1のクリーニングを参照してください。

*全ての部品を取り外したときとは逆の手順で取り付けます。

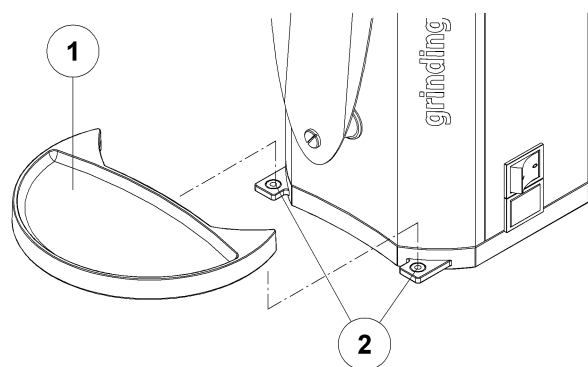
*ホッパーを取り付けます。



9-1-4 受皿 (トレイ) のクリーニング

粉受けが汚れたら、9-1を参照し毎日クリーニングしてください。

粉受け(トレイ)は道具なしで取り外しできます。



9-2 刃の交換

9-2-1 刃の交換

希望する挽き目が得られなくなったら、刃の交換の時期です。

警告

刃の交換をするときは、グラインダーが完全に静止してから行ってください。また、作業に取り掛かる前に、電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

手順

1. 粉碎室のクリーニング（9-1-2）を参照して、固定ディスク・フレンジ(固定刃取付台)①を取り外します。
2. 固定ディスク・フレンジ（固定刃取付台）①から固定刃②を取り外します。同様に、回転ディスク・フレンジ（回転刃取付台）④から回転刃③を取り外します。取り外し方は事項をご参照ください。
3. 新しい刃を取り付けます。

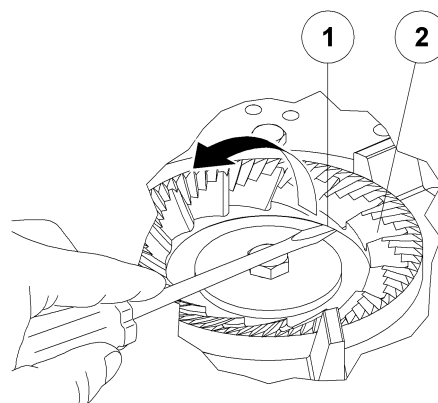
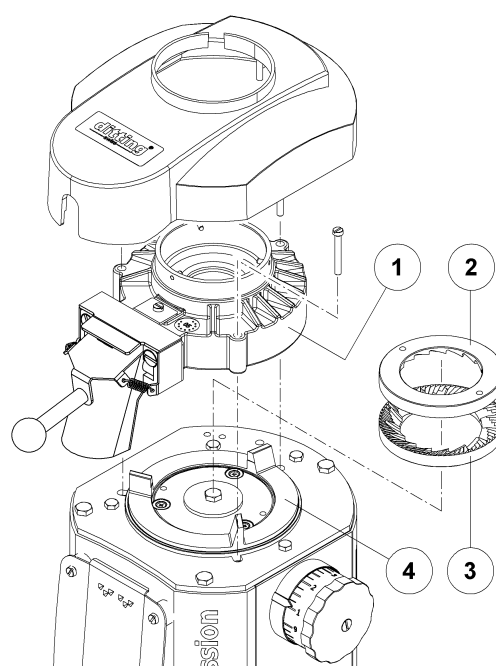
ヒント

刃を取り付ける前に、接触面に何も付着していないことを確認してください。何か付着していると、一貫した挽き目を得られないことがあります。

9-2-1 (1) 回転刃を回転ディスク・フレンジから取り外す

手順

1. サイズ3のドライバーを回転刃②の溝①に差込み、ドライバーの反対側を刃の縁に乗せ、槌子として使います。
2. 回転刃がマグネット（磁石）の威力に勝って浮き上がると、簡単に手で外せます。
3. 取り付けは逆の手順で行ってください。取り付けの際は刃が正しいポジションに置れていることを確認してください。

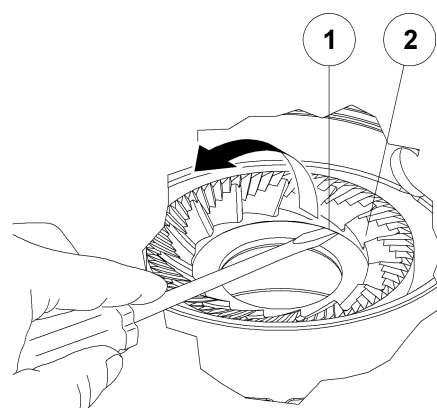


ヒント

取り付けの前に、回転刃と回転ディスク・フレンジの接触面に付着物がないことを確認してください。何か付着していると、一貫した挽き目が得られないことがあります。

9-2-1 (2) 固定刃を固定ディスク・フレンジから取り外す 手順

1. サイズ3のドライバーを固定刃②の溝①に差込み、
2. ドライバーの反対側を刃の縁に乗せ、槌子として使います。
3. 固定刃がマグネット（磁石）の威力に勝って浮き上がると、簡単に手で外せます。



ヒント

取り付けは逆の手順で行ってください。

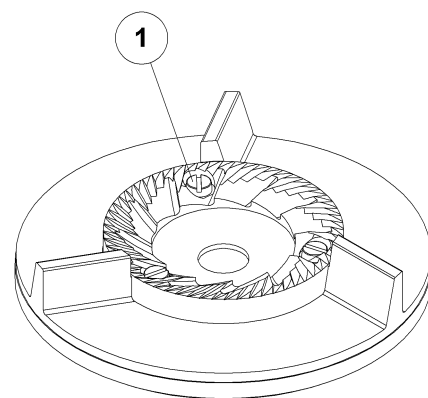
取り付けの際は刃が正しいポジションに置かれていることを確認してください。

ヒント

取り付けの前に、固定刃と固定ディスク・フレンジの接触面に付着物がないことを確認してください。何か付着していると、一貫した挽き目が得られないことがあります。

9-2-1 (3) ねじ留め刃をディスク・フレンジから取り外す。

一部の刃はねじ①留めになっている場合があります。その場合はドライバーで留めねじを外してから刃を取り外してください。



9-3 電気系統のメンテナンス

ヒント

電気系統のメンテナンスはD i t t i n g 代理店の専任スタッフか、電気取扱いの資格をもつ専門家に任せてください。

警告

作業を始める前に、グラインダーが静止していることを確認してください。
また、作業を始める前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

10 安全装置と故障

10-1 保護装置

グラインダーはモーター内の温度監視システムと、過重負荷防止装置（ブレーカー）で保護されています。また、カバープレートやホッパーがきちんと取り付けられていない場合、本体上部に組み込まれたマイクロ・スイッチが感知してモーターが始動しないシステムになっています。

温度監視システム

モーターが異常に高温になった場合、監視システムが感知してスイッチを切ります。グラインダーが連続運転された場合に起こります。グラインダーが冷めれば、再度運転可能となります。

過重負荷防止装置（ブレーカー）

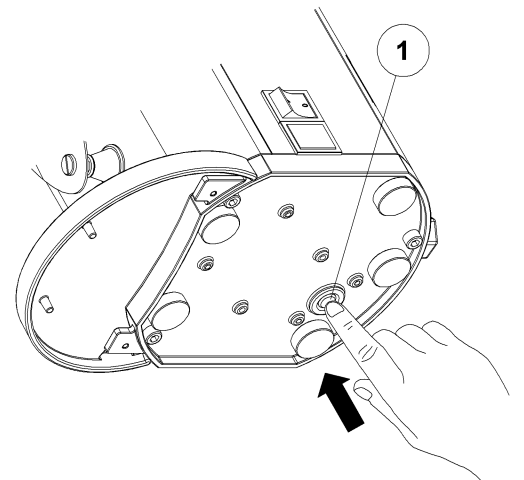
過剰な電流が流れるとブレーカーが働いて電気の流れをストップします。

刃の間に異物が噛んで回転が妨げられたりすると、このような状態になります。

もしブレーカーが働いた場合は、リセットしてください。

*グラインダーをやや左方向に傾け

*本体底板についているボタン①を押し込み、グラインダーを元の位置に戻します。



10-2 故障

セルフサービス・コーナーに設置されているグラインダーには、「故障の場合は係員までお知らせください」の注意書きを機械のそばに置いておくことをお勧めします。

故障の場合は次の点をご確認ください。

故障	原因	対応
スイッチが入らない	電源が接続されていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください
	ブレーカーが落ちている	ブレーカーを押し戻す
	ブレーカーが再度落ちた	刃の間に異物が噛んでいないか確認し、あれば取り除いてください。その後、再びブレーカーを押し戻す
	家屋のブレーカーが飛んだ	ブレーカーを戻します
	カバープレートがきちんと取り付けられていない	正しい位置にきちんと取り付けなおす
	ホッパーがきちんと取り付けられていない	正しい位置にきちんと取り付けなおす
	マイクロスイッチもしくはカバープレートに損傷がある	マイクロスイッチもしくはカバープレートを交換する
モーターが回転しない	粉出口が詰まっている 粉砕室が詰まっている	粉出口を掃除する 粉砕室を掃除する
挽き目が一貫していない	刃が磨耗している	新しい刃に交換する
微粉が増えた	刃が磨耗している	新しい刃に交換する

1.1 廃棄処分

グラインダーを廃棄するときは、環境汚染、人体への影響を考慮し、また、地域の条例などに従ってください。グラインダーの廃棄はオペレーターの実行において、地域の条例を遵守して行ってください。グラインダーを廃棄するときは、コンセントから電源プラグを引き抜き、プラグを電源コードから外してください。

ヒント

機械の分解はメンテナンススタッフが行ってください。

機械を分解するときは、危険物廃棄等の条例に従ってください。

プラスチック部分はリサイクル用に別にして廃棄してください。

12. 連絡先

製造者

D i t t i n g M a s c h i n e n A G
B r a m e n s t r a s s e 1 1
C H - 8 1 8 4 B a c h e n b u l a c h
S w i t z e r l a n d

日本代理店

ワタル株式会社

東京都港区西新橋2-11-9

電話 : 03(3503)8351

名古屋支店

名古屋市中村区豊国通3-18 征木ビル1F

電話 : 052(419)6518

大阪支店

大阪市北区野崎町9-13 梅田扇町通ビル3F

電話 : 06(6312)4371